



左から 小野さん、後藤さん、中根組合長、増田さん、元永さん

修了証授与

大分県漁業学校

本年度の大分県漁業学校は全てのカリキュラムを修了し、15日に水産会館で修了式を執り行った。中津支店の増田朋宏さん(海苔養殖、採貝藻)、宇佐支店の元永聖士さん(底びき網、たこぼ)、上入津支店の小野涼介さん(真珠養殖)及び蒲江支店の後藤拓也さん(緋扇貝養殖)の4名に中根組合長から修了証書を授与した。

漁業学校は、県漁協と大分県が連携して、本県漁業への就業

を希望する者に対し、漁業に関する知識や技術の習得等に関する研修を実施するもの。1年間のカリキュラムは漁業基礎知識研修(漁業座学・陸上実習)を140時間、漁労実習を1060時間に及ぶ。

式中中根組合長は先輩漁業者として、努力、初心を忘れずに夢を叶えて欲しいと激励した。漁業学校を修了し一定の要件を満たす人には、大分県青年就業準備給付金の支給もあることから、4人には浜の新戦力として頑張ってもらいたい。

私は、20歳から親元で就業を始め、21歳のころ父親が亡くなり、そこから昨年6月30日組合長に就任するまで、4年間一人で小型底びきの船に乗ってきました。

皆さんも漁船漁業や養殖業に就くと思いますが、漁師は辛抱強さ、努力、初心を忘れずにやるのが大切だと思います。自分もいつもそれを目指して頑張っていました。

組合長から激励の言葉

近年、温暖化等の海洋環境の変化が起こって、漁業が置かれた状況は厳しさを増しています。皆さんも辛抱強く努力、初心を忘れずにやっていけば夢を叶えられると思います。

漁業士などの活動を通して繋がりを広げていき、地域を盛り上げて欲しいと思います。

これから、皆さんが大分県の漁業を立て直し、お互いを高めあつて頑張ってください。

漁業士5名を認定



(左から) 宇都宮普及員(東部局)、宮崎指導漁業士、倉橋課長補佐、脇谷青年漁業士、三吉副主幹(南部局)

県は22日、本年度の漁業士認定証授与式を開催。県漁協所属の水永政弘さん(くにさき支店・潜水、タコかき)、栄木進二さん(杵築支店・底びき網)、脇谷哲平さん(上入津支店・魚類養殖)、浪井陽満さん(下入津支店・魚類養殖)の4名が青年漁業士に、また、宮崎大輔さん(日出支店・底びき網)が指導漁業士に認定された。

県水産振興課の倉橋賢二郎課長補佐は「県との連携を深め、施策等についてご提言を頂きますとともに、後継者への指導や



決意表明する
宮崎指導漁業士

漁村活性化のため、生産現場での益々の活躍を期待しています」と激励した。認定者を代表し宮崎指導漁業士が「お互いに連携をとりながら一致団結して、地域水産業の発展と明るい漁村づくりのため、精一杯努力します」と決意を表明した。

漁業士の認定は、後継者の資質向上と自立意欲向上を目的に、国の事業として昭和61年度から実施されている。県はこれまで地域漁業の核となる青年漁業士179名、青年漁業士等に指導助言できる指導漁業士121名を認定している。

県人事異動内示

審議監に高野氏、研究部長に伊藤氏

県は18日、4月1日付の人事異動を内示した。水産関係では、退職する景平真明農林水産部審議監(水産担当)の後任に高野英利漁業管理課長が兼務で就任する。同じく退職する古川英一農林水産研究指導センター水産研究部長の後任には、伊藤龍星北部水産グループ長が就く。

次長級

農林水産部審議監(水産担当)兼漁業管理課長

高野 英利(昇任)

課長級

南部振興局農山漁村振興部長 大塚 猛

農林水産部漁業管理課参事 倉橋 賢二郎(昇任)

農林水産研究指導センター

水産研究部長 伊藤 龍星

農林水産研究指導センター水産研究部

北部水産グループ長 木村 聡一郎(昇任)

「不合理漁獲は規制を」行政に提言



タチウオ漁業者検討会を開催

12日の第2土曜日、県水産会館において令和3年度大分県タチウオ漁業者検討会を開催した。

まず、県水産振興課の倉橋課長補佐から愛媛県大分県タチウオ漁業者との協議経過等について説明があった。これまでオブザーバー参加であったものが昨年から正式参加となったこと、一方、大分県タチウオ漁業者の要望は平行線であること等が示された。

出席委員からは、まき網漁業による冬季の不合理漁獲が規制されなければ資源は回復しない。

い。後継者も育たない等の意見が出された。県漁協としても、国政、県政への要望に盛り込むなど、委員の声を行政機関に届けたいと対応した。

次いで県農林水産研究指導センターの徳光主任研究員が資源調査結果について報告し、本年度の資源管理措置について検討した。この結果、昨年度と同様の禁漁区、5・6月における休漁日の設定により漁獲努力漁を削減することを了承した。

なお、協議の経過や愛媛県漁業者の規制内容についても明記するよう、県漁協から県に要請した。

○卵の出現について
マアジ卵は、4月中旬から7月中旬に出現し、ピークは6月上旬。卵の出現場所は豊予海峡を中心に、昨年よりやや広範囲（豊後水道側でも出現で、量も昨年よりやや多い）。

マサバ卵は5月上旬から下旬、6月上旬、下旬に出現。出現点数、出現量は昨年と同程度。（豊予海峡周辺の他、別府湾奥、姫島付近でも出現）

○マアジの資源量推定について
コホート解析によりマアジの年齢別資源量を推定した。資源の



マアジ卵



マアジ孵化仔魚

主体は1〜3歳魚で、横ばい傾向にあり漁獲割合は高い状況が継続している。

・直近は0〜1歳魚がやや増加しているが、不確実性が高い。

○今後の調査について
マアジ資源量推定の解析手法は漁業から独立した卵数法と、漁業情報を活用したコホート解析が用いられる。卵数法は、産卵状況から資源動向を把握するが、精度の向上が課題。コホート解析は、漁獲量から資源状態を把握するが、魚体サイズの正確な把握が課題であり、出荷伝票の解析を進め、努力量等からの精度向上を目指す。



本年も協定締結へ

まあじ・まさばの資源管理

した。

次いで県水産研究部の中尾主任研究員に調査中間報告をい

ただき、関係漁業者等との質疑応答を行った結果、例年どおり協定を結ぶことで合意した。

28日までに双方の休漁日が提出され、月末には協定が結ばれる運びとなった。

本年度の調査中間報告の要旨は次のとおり。

挨拶する県漁業管理課大塚参事、手前は佐賀関一本釣り、向側は臼津まき網漁業の関係者



○漁獲動向について

マアジ太平洋系群は、近年加水量が少なく再生産成功率が悪い状態が続いている。3年度佐賀関一本釣り及び臼杵・津久見まき網による漁獲量は496.8トン（前年比125%、平年比67%）

・サバ類太平洋系群は東日本中心の資源増の恩恵を受け、漁獲は増加し高い水準を維持している。春季は三重以西でも漁獲あり。大分県においては小型マサバの採捕報告が多く見られた。

3年度佐賀関一本釣り及び臼杵・津久見まき網による漁獲量は271トン（前年比95%、平年比96.3%）

県議会

令和4年 第1回 定例会

水産関係質疑応答

代表質問



三浦正臣議員

日向灘地震による水産関係の被害について

県議会は3月3日・4日に代表質問を、7日から9日の3日間に一般質問を行った。

三浦正臣氏(日出町)は自民党を代表し、日向灘地震による水産関係の被害について質した。

一般質問では、自民党の元吉俊博氏(宇佐市)が農林水産物の輸出戦略について、しんせい大樹会の荒金信生氏(別府市)が県内水産物の販売戦略について聞いた。

【質問】三浦議員

1月22日発生の地震被害は2月18日時点で39件、7.5億円だが、その中心は佐伯市の漁港施設や水産関連施設であり、漁業生産現場は対応に苦労している。

コロナ禍や燃油高騰の中で頑張る漁業者が安心して生産活動が出来るよう、県はどのように復旧支援を行うのか。



被災状況を調べる査定官

【答弁】佐藤農林水産部長

今回の地震では佐伯市の10漁港等で係留施設や荷さばき施設での地盤沈下やひび割れ、製氷貯氷施設の傾斜などの被害が確認された。

日常的に使用する施設の応急措置を講じた上で、国に出向き復旧に向けた要望活動を行った結果、2月上旬には国の事前調査が、3月上旬には災害査定が前倒しで実施された。査定終了後は速やかに復旧工事に着手する。

陸上養殖施設は、県独自の災害パッケージを活用し、施設の修繕を支援する。

今後とも国や佐伯市などと連携し、水産関係施設の早期復旧に努める。

一般質問



元吉俊博議員

農林水産物の輸出戦略について

【質問】元吉議員

国は農林水産物の輸出拡大に向け取組を強化するため、28の輸出重点品目を選定して具体的な行動計画を策定、加工施設の整備などにより農林水産事業者を後押しするとしている。

本県の農林水産物の輸出戦略について、1年間の成果と今後の展望を伺う。



深圳フェア(大連)

【答弁】広瀬知事

本県農林水産物の昨年度輸出実績は28億9千万円と5年連続して最高額を更新。今年度はコロナ禍にあつてWEBや現地法人等を活用し輸出拡大を進め、中国、大連の「おおい農林水産物輸出サポーター」の協力により、消費者向けに養殖ブリや養殖シマアジをPRし好評を得た。今後はコロナ収束後の反転攻

一般質問



荒金信生議員

県内水産物の販売戦略について

【質問】荒金議員

本県は豊かな海の恵みを生かした水産業が盛んだが、資源の減少、燃油等コストの増大、モジャコの不漁等に加え、コロナ禍でブランド魚の需要が減少するなど、生産活動を控えざるを得ない漁業者も出ている。

一方、「全国豊かな海づくり大会」の開催決定は明るい話題であり、流通販売の強化を鍵に水産業発展に繋げることが大事。

勢に向け、国の実行戦略も踏まえ、養殖ブリ等強みがある品目を中心に海外戦略を強化する。

まず、マーケットインの輸出産地づくりとして、養殖ブリの冷凍切身等のニーズを踏まえ、新たに高次加工施設を整備する。また、新たな販路の開拓として、RCEP協定に加盟した中国に向け、現地フェアで好評の養殖クロマグロや養殖シマアジ等の販路開拓を進める。

世界の増大する食料ニーズに対応し新たなマーケットを切り拓き、令和6年度57億円の目標達成に向け全力で取り組む。

【答弁】広瀬知事

コロナ後の需要拡大を見据え、消費者ニーズを的確に捉えて、販路拡大と消費拡大の2本柱で取り組む。



対面販売を強化

販路拡大では、「おおいの魚パートナリーショップ量販店」に認定しコロナ禍でも堅調な販売を続ける関東圏の大手量販店3社との連携を強化するとともに、飲食チェーン店もパートナリーショップ店として県外販路の更なる拡大を図る。また、産地加工の重要性を踏まえ、冷凍切身等の高次加工施設の新設等による養殖ブリ輸出に努める。

消費拡大では、県漁協直営店における消費拡大に向け、対面販売の強化に取り組む。また、著名な料理人によるメニュー開発やSNSによる料理動画の配信等、情報発信を進める。

全国豊かな海づくり大会に向けた様々な行事もPRの場として活用し、県産魚の販路拡大と消費拡大を進める。

水 研 だ よ り

大分県沿岸のイサキ資源解析について

イサキは本県の重要水産資源の1つです。農林水産研究指導センター水産研究部では、長年、調査を実施し、年齢や成熟といった生態情報を集めています。今回、イサキの資源状態について解析を試みたので紹介します。

○年齢別漁獲尾数の推移

2009～2020年の市場調査のデータを用いて、年齢と体長の関係から、漁獲されたイサキの年齢構成を明らかにしました。その結果、産卵に参加する前の1歳魚と初めて産卵する2歳魚が、漁獲物中に約30%含まれていました。この数字は1998～2006年に調査した際の約46%よりも約16%減少しています。

現在、イサキの資源管理として、海域毎にイサキ小型魚保護のため体長制限が設けられています。小型魚を保護し、少なくとも1回は産卵に参加させる点で有用であり、今後も継続すべき取り組みと考えられます。

和歌山県もイサキの体長制限に取り組んでおり、漁獲物に占める1～2歳魚の割合は概ね20%台に抑制されています。和歌県水産試験場の調査によれば、親魚量の安定や漁獲物の大型化といった効果が表れており、直近のイサキ資源量は増加傾向にあるということです。豊後水道でも、体長制限の取り組みが徹底できれば、親魚資源の維持・増大に寄与すると期待できます。

○親魚量の推定

前述した年齢別漁獲尾数や、一本釣りの1日1隻あたりのデータなどを用いて親魚量を推定しました。その結果、2009年の1,573トンから減少を続け、2020年は744tとなっていました。

乱獲かどうかは、漁獲の強さを示す漁獲係数という値で判断します。解析の結果、当県のイサキ資源量は減少しているものの乱獲状態ではないと判断されました。

一方、次世代の状態を示す再生産成功率の値が急激に下がっていました。また、1～2歳魚の漁獲係数が上昇しているとの懸念材料も示唆され、今後も注意深く調査する必要があると考えています。

○今後について

本県のイサキ漁獲量は、近年は130t前後を推移していますが、時折、200t台の漁獲が記録される年があります。これは、イサキが卓越して増加する現象を表しているのではないかと推測しています。この現象をきちんと把握し、増加した資源を大切にすることが資源増大の糸口となるのではないかと考えており、耳石の解析を進める予定です。また、資源量推定の精度向上にも取り組んで参ります。今後も調査を続けて参りますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。

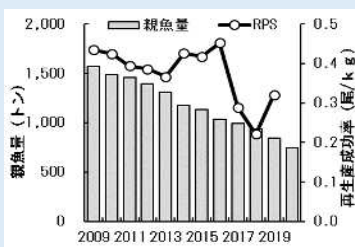


図1 イサキ親魚量と再生産成功率の経年変化

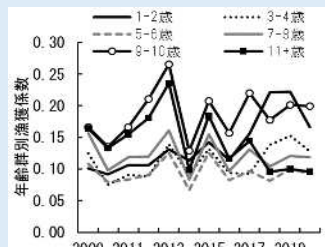


図2 イサキ年齢群別の漁獲係数の経年変化

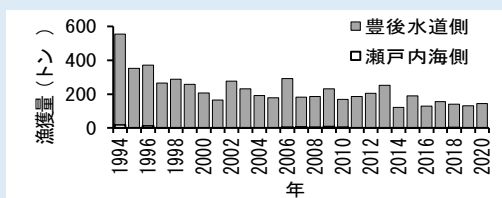


図3 本県のイサキ漁獲量経年変化(海面漁業生産統計から)

瀬戸内海広域漁業調整委員会開催

水産庁は11日、第44回瀬戸内海広域漁業調整委員会(今井一郎会長)を開催した。本県からは本庄委員が事務局と共に県庁からウェブで参加した。

今井会長及び魚谷水産庁資源管理推進室長が挨拶し、議事に入った。

「太平洋クロマグロの遊漁に関する委員会指示」及び「サワラに関する委員会指示」について水産庁等から説明があり、今回は

特に意見もなく承認された。遊漁によるクロマグロの採捕については、30 kg未満の小型魚は禁止、30 kg以上の大型魚は制限や報告を求めることに決した。

また、サワラについては、3月末で有効期間が満了する現行の広域資源管理の取組を継続することとなった。

次いで水産庁が、次年度資源管理関係予算の説明を行った。なお、今回の開催は11月頃、対面での開催を予定することとなった。

海区漁業調整委員会第8回委員会開催

18日、県水産会館5階研修室において、第8回大分海区漁業調整委員会が開催された。

第1号議案「別府湾南部海域における漁法の制限について」、第2号議案「別府湾南部海域におけるあみ等のまきえを使用する船釣り等の禁止について」、第3号議案「大分県海域におけるあみ等のまきえの使用禁止について」、第4号議案「津久見市無垢島周辺における漁法の制限について」、第5号議案「伊予灘及

び豊後水道北部におけるまきえの採捕の禁止について」並びに第6号議案「豊後水道北部におけるいさぎの採捕の禁止について」は、いずれも引き続き委員会指示を発出することに決した。

第7号議案「知事管理漁獲可能量の設定について」では、くろまぐろ(小型魚)、くろまぐろ(大型魚)及びするめいのかの知事管理漁獲可能量をそれぞれ、3.8トン、6.4トン及び現行水準(目安数量50トン)とする原案に異議ない旨知事あて答申することに決した。

また、「大分県資源管理指針」の変更について、時点修正等を行う旨の報告を受け了承した。なお、当日に県職員の人事異動の内示があったことから、転出する関係職員から挨拶を受けた。委員会事務局の大塚猛局長は南部振興局農山漁村振興部長に転出し、後任には水産振興課資源管理班の倉橋賢二郎課長補佐(総括)が昇任▽1面参照、三ヶ尻孝文主幹は北部振興局水産班主幹に転出し、後任には北部振興局水産班の中川彩子主幹が転入した。

4.1 人事異動

県漁協が抱える重要な課題を解決する体制を整備するため、令和4年度の人事異動を実施します。ご活躍をお願いします。

【本店】▽総務部経営管理課主任（経済事業部販売課主任）植木千絵、総務課（正職員登用）野田翔子、▽信用事業部資金課（正職員登用）中西奈菜子、▽経済事業部販売課（総務部経営管理課・渡邊美奈、（総務部総務課）三井真菜、（水産物加工処理施設業務2課）瀬口正人【日出共販所】業務担当（日出支店販売担当）石掛裕一郎【長洲工場】総務担当（中津支店購買・利用担当）矢野奈津李【中津支店】購買・利用担当主任（長洲工場総務課主任）板井和美

託（業務担当）河野照美【姫島支店】支店長（支店長代理）寺下嘉彦、専門員（支店長）谷勇【くにさき支店】信用・共済担当（正職員登用）吉本麻由子【杵築支店】信用担当（信用担当主任）金星ひとみ、信用・共済担当（正職員登用）中根菜里奈、総務課臨時（新規採用）松野航也【日出支店】業務・総務課長（業務・総務係長）上野裕介【別府支店】総務担当（正職員登用）松本理恵、経理担当（正職員登用）平尾真理、総務担当臨時（新規採用）中内望【佐賀関支店】総務課（販売課）大本益生【上浦支店】支店長（業務課長）森崎計治、専門員（支店長）大浜昭人【佐伯支店】支店長代理（販売課長）神田豊弘【鶴見支店】総務課嘱託（専門員）山田正喜、販売課長（市場販売2販売2課長）大崎和広、

販売課長補佐（市場販売1課長補佐）安倍秋馬、販売課係長（市場販売2課係長）安部武、販売課（市場販売1課）市楽航、（正職員登用）平山綾、（新規採用）石田晶聖、販売課相談員（市場販売1課長兼市場販売2課長）田島敏明、購買課長兼製水課長（購買課長）早瀬一泰、購買課長補佐（購買課係長）桑原博之、製水課相談員、製水課長、渡邊清和、東営業店嘱託（東営業店）中路秀治【米水津支店】色宮営業店（新規採用）坂本琉星【下入津支店】元猿営業店主任（蒲江支店製水係長）川野健【蒲江支店】指導課長（購買課長）山野清光、購買製水課長（販売課長兼製水課長）後藤錦二、販売課長補佐（販売課係長）後藤浩二、信用課臨時（新規採用）後藤治代、後藤鈴【水産物加工処理施設】業務2課相談員（業務2課長）庭瀬善生、総務課（正職員登用）戸高大地

開催 各事業委員会 第11回理事会



29日、各事業委員会及び第11回理事会を開催した。理事会では、第1号議案「組合員の異動について」、第2号議案「組合員に対する融資について」、第3号議案「固定資産の売却について」、第4号議案「出資口数の減少について」、第5号議案「組合員資格審査委員会の結果報告について」、第6号議案「役員賠償責任保険の加入について」、第7号議案「買受人承認について」

、第8号議案「令和4年度大分県沿岸漁業振興特別対策事業について」及び第9号議案「令和5年度「浜の活力再生・成長促進交付金（水産業強化支援事業）」事業要望について、原案のとおり承認することに決した。また、「余裕金の運用状況報告について」及び「令和3年度・決算見込みについて」報告した。決算見込みは、貸倒引当金の繰入も想定され、かなり厳しい。

理事会終了後、第10回理事会で報告した「上期監事監査指摘事項」について、理事間協議を行った。自己資本比率を確保して健全な漁協経営を確保するためには増資が必要との認識を共有し、増資に向けた具体案を検討した。この結果、役員報酬の天引きによる出資積立から取

り組むことで合意し、4月から行うことになった。また、監事への適用と新規加入組合員の最低出資金の引き上げについては次回理事会に提案することとし、運営委員や一般組合員への依頼や固定資産見合の増資等については、今後更に検討を行うこととした。

理事による率先増資案に合意！

早急に被害復旧を！

日向灘地震対策を要望

中根組合長は、2月21日開催の第10回理事会で議決した「日向灘地震被害対策」を、県及び佐伯市等に要請した。

2月28日は県庁に佐藤農林水産部長を訪ね、広瀬知事宛の要望書を手交した。また、3月3日は県議会議員室に御手洗議長を訪問し、対応を要望した。

被害が集中した佐伯市に対しては、2月24日に田中市長（代理）農林水産部長及び河野市議会議員に要望書を渡した。

さらに、衆議院議員の衛藤征士郎氏と岩屋毅氏、参議院議員の衛藤晟一氏にも各事務所を通じて要望した。



平素より、本県水産業の振興につきましましては、格別の指導、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年1月22日午前1時08分、大分県佐伯市沖の日向灘を震源とするマグニチュード 6.6 の地震が発生し、佐伯市においては震度 5 強の非常に激しい揺れが観測されたところです。

この地震により、大分県全体の海面漁業生産量の約 7 割を占める佐伯市管内の当組合 8 支店においては、漁協施設（倉庫・製氷貯水・船庫等の共同利用施設）や漁港施設に多くの被害が発生しております。特に、米水津支店の荷役施設や製氷貯水施設は被害が激しく、漁業者の水揚げ等の生産活動にも大きな支障が生じており、その影響は、県内漁業者をはじめ水産業に関連する加工業者等にも及んでおります。

当組合といたしましては、佐伯市管内の当該被害を早期に復旧する必要があるが、漁協保有施設の復旧費用を算出したところ、当組合が単独で対応できる範囲を大きく超えるものとなっております。また、これら施設の大半は県・市の管理する漁港用地に設置しており、同用地にも地震沈下等が確認されていることから、漁協保有施設と合わせた復旧が必要であると考えております。

つきましては、佐伯市管内の当該被害に対し、早急に復旧に向けた特徴の措置を講じられますよう強く要望いたします。

「大分の新しい旬カキ」を味わう



県は3日、東京有楽町のフラッグシップ「坐来大分」で県産のブランド牡蠣「ひがた美人」と「大入島オイスター」の試食会を開催した。都内の飲食店やマスコミ関係者ら約30名が出席。安心院料理長が調理した牡蠣料理（焼き、蒸し、燻製、バター焼き、グラタン、コンフィ等）を味わった。

「ひがた美人」については県漁協中津支店販売課の林課長が、「大入島オイスター」については合同会社新栄丸の宮本代表がオンラインで説明した。

出席者からは「大分県のカキのレベルは高い。臭みがなくて高品質。」等の評価をいただいた。

東京で県産水産物をPR

「地獄蒸し祭り」 in 東京タワー2022

25～27日の3日間、おんせん県おおい「地獄蒸し祭り」イン東京タワー2022（中根隆文実行委員長）が開催された。コロナ禍で2年間延期されていたが、まん延防止が解除されたことから規模を縮小して開催した。

例年行ってきた養ブリ、養ヒラメの販促に加え、今回は豊



蒸しにした「ひがた美人」は特に評判が良く、居酒屋関係者からの引き合いもいただいた。

次回は11月開催を予定。お客様が大分県産品をすぐに購入出来るネット販売の対応も準備したい。

後別府湾ちりめんと中津のブランド牡蠣「ひがた美人」もPRした。

かぼすブリ・かぼすヒラメの寿司は例年どおり好評だったが、地獄



蒸し料理にした「ひがた美人」(左)「大入島オイスター」(上)



魚の捌き方動画をユーチューブに公開

コロナ禍において内食需要が高まる中、県産魚の一層の消費拡大と魚食普及につなげるため、YouTubeに「JFおおい おさかなチャンネル」を開設しました。16日から養殖ブリやマアジなど10魚種の捌き方動画を公開しています。

捌き手はおさかなランド OPA店の薬師寺稔店長。ナレーションは声優の皆口裕子さんが勤めています。下記URLからご覧下さい。

<https://www.youtube.com/channel/UCSmhlpUWHj3GkGNw5-Mza8w>

青学陸上部に県産魚など贈呈

今年の箱根駅伝を大会新記録で優勝した青山学院大学陸上競技部が、大分スポーツ公園で合宿を行った。

県は17日、第一応接室で尾野副知事から同部の宮坂キャプテンに対して県産品8品目（かぼすブリ、かぼすヒラメ、おおい和牛、米の恵み、冠地どり、ベリーツ、甘太くん、うまみだけ）を贈呈した。



特殊詐欺の不審電話やハガキに注意！
(あなたや家族は大丈夫ですか?)

振り込め詐欺に注意

あわてない！ 確かめて！ 振り込まない！



オレオレ詐欺

「電話番号が変わった」は詐欺
同窓会名簿等を用い、家族(息子等)の人名をかたる。
「星野をひいて、声が変わった」
「示談金が必要」
「投資に失敗して借金ができた」



架空請求詐欺

「はっきりしない請求」は無視して相談
サイト利用料や退会料・未納料金などをでっちあげ
お金を要求する。
「民事訴訟裁判通過書」「最終通告」など不安をあおる。
「多重債務者」リストの名前を削除するのに費用が必要だ。



融資保証金詐欺

「手数料や保証金が必要」は詐欺
タイムメールや電子メールで融資の勧誘を行う。
「担保、保証人なしで高額融資します」
「多重債務を一本化します」



還付金等詐欺

「ATMでお金を返す」は詐欺
自治体や社会保険事務所の職員を装って電話をかけ、
携帯電話で指示しながら、ATMを操作させる。
「過去に払った医療費の払い戻し金がある」
「携帯電話を持ってATMへ行ってください」

「困った!」「どうしよう!」は一人で悩まず110番

大分県安全・安心まちづくり協議会 大分県 大分県警察

一大分県安全・安心まちづくり推進本部
☎097-534-2038

(この項目は県漁業管理課の要請を受けて掲載しています)

佐伯のさかな祭り



おさかなランド3店にて開催

3月25日(金)

PART 2



佐伯の魚三種盛
30% OFF
各店 100セット

佐伯産水産加工品
プレゼント
抽選会
毎月第4金曜日は
おおいた県産魚の日

佐伯地区水産振興協議会

JFおおいた

おさかなランドOPA店

「県産魚の日」・・・3月は第4金曜日の25日に「佐伯のさかな祭り」を開催。特産養魚「かぼすヒラメ」や「縞鰯」、ヒオウギガイ等を販売した。

お客様からは「いつも楽しみにしている」「鮮魚がいっぱい嬉しい」などの声をいただいた。



2月末、津久見市四浦の河津桜



3月末、別府公園のソメイヨシノ

満開の桜の季節を迎えた。
早春の河津桜も見事だったが、
今は街中がソメイヨシノの淡いピンクに席巻されている。
西行法師の歌が思い浮かぶ。
願わくは花の下にて春死なん
その如月の望月の頃

一方世界に目を転じると、
でも21世紀の出来事とは思えない
蛮行により、人々の生命財産が奪われている。一刻も早い
解決と復興を望みたい。

編集後記



サカナをたべれば
幸福が見えてくる

ウオシメ

今回は津久見から「ヨツナ」のひゅうが井」をご紹介。1738円と少し高めだが、満足の昼食になるはず。
津久見市にはマグロ料理を出す店が多いが、昔は旧道沿いにあった「浜茶屋」今は「亀吉」を愛用している。あと、「もくれん」のマグロちゃんぽんも定期的に食べたくなる逸品。
お腹が膨らんだところで、四浦の河津桜を鑑賞へGO!